


# 行方市(なめがたし)

 市章等 〒 311-3892 〈住所〉 行方市麻生1561番地9 〈TEL〉 0299-72-0811 〈FAX〉 0299-72-2174 〈HP〉 <a href="http://www.city.namegata.ibaraki.jp">http://www.city.namegata.ibaraki.jp</a> 〈e-mail〉 name-kikaku@city.namegata.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	特定防衛施設	退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 税滞納整理 火葬場 消防救急 介護認定 共同研修 養護老人ホーム	法適用(上水) 法非適用(公共下水 特定環境下水 農業集落排水 特定地域生活排水)
類型 I-O 地方公共団体コード 082333 面積 222.38 km <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①長等(平成25年5月1日現在)

長	いとう こういち 伊藤 孝一 (62歳)	任期	平成25年10月1日
副市長		就任回数	1期目
		欠員	

### ②議会(平成25年5月1日現在)

議長	貝塚 順一	副議長	岡田 晴雄
任期	平成27年4月23日	条例定数	20人
党派別	公明1人, 無所属19人	現議員数	20人

### ③職員数(平成24年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
386	348	263	38
一般行政職の平均給料月額	3,324 百円	ラスパイレス指数 104.1	参考値 ※ 96.2
全職員数の推移	平成21年4月1日	平成22年4月1日	平成23年4月1日
	422	409	392

※ 参考値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値

### ④機構図(平成25年4月1日現在)

〈市長〉—  
市長公室-秘書課, 企画政策課

総務部—総務課, 総合窓口課, 財政課, 税務課, 収納対策課

保健福祉部—社会福祉課, 介護福祉課, 健康増進課, 国保年金課(福祉事務所)

建設部—都市建設課, 下水道課

経済部—農林水産課, 商工観光課, 環境課

〈会計管理者〉—会計課

〈議会〉—議会事務局

〈農業委員会〉—農業委員会事務局

〈教育長〉—  
教育次長—学校教育課, 生涯学習課, スポーツ振興課

〈水道事業〉—水道課

## <概要>

### ①沿革

平成17年9月2日 合併 麻生町 北浦町 玉造町
-----------------------------

### ②地勢・風土等

茨城県の南東部に位置し、東京都心から約70km、県都水戸市から約40kmの距離にある。面積は166.33km<sup>2</sup>で、霞ヶ浦と北浦を含めると222.38km<sup>2</sup>、東西約12km、南北約24kmの形状となっており、北は鉾田市と小美玉市、南は潮来市に隣接し、東は北浦、西は霞ヶ浦(西浦)に面している。内陸部は標高30m前後の行方台地により形成されており、霞ヶ浦沿岸部は概ねなだらかで連続的な稜線であるのに対し、北浦沿岸部は比較的起伏に富んでいる。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成25年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	20,434	19,712	18,463	17,782
	女	21,031	20,323	19,148	18,403
	合計	41,465	40,035	37,611	36,185
世帯数	10,884	11,313	11,346	11,394	

### ④有権者数(平成25年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 28.5%
	15,568	15,852	31,420	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成22年度)

市町村内総生産	1,123 億円	就業者1人当り	6,446 千円
住民所得	923 億円	人口1人当り	2,455 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成22年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	12,318	11.0 %	4,104	19.9 %
第2次	25,646	22.8 %	5,260	25.5 %
第3次	73,763	65.7 %	9,170	44.4 %
総額・総数	112,303	—	20,630	—

### ③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	3,731	836	5,547
製造業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H23.1.1~12.31)
	114	2,934	48,706
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	394	2,440	60,713

### ④特産物

60品目を超える農産物(野菜王国なめがた)、式湖の国の水産物、ブランド豚・鶏卵・牛の畜産物、行方バーガー(なめバックン)、霞ヶ浦ラーメン、河ふぐ燻製、駅路(うまやじ)等

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成22年度決算	平成23年度決算	増減率
歳入	18,168,074	20,296,584	11.7
歳出	17,613,145	19,380,951	10.0
形式収支	554,929	915,633	-
実質収支	425,113	535,667	-
単年度収支	△ 97,798	110,554	-
実質単年度収支	312,201	350,798	-

②主な歳入・歳出(平成23年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	20,297	-	2,129	11.7
地方税	3,665	18.1	14	0.4
地方交付税	7,734	38.1	1,504	24.1
国庫支出金	2,472	12.2	163	7.0
地方債	1,921	9.5	44	2.3
うち臨財債費	788	3.9	-	-
その他	4,505	22.2	-	-
うち繰入金	777	3.8	-	-
歳出	19,381	-	1,768	10.0
義務的経費	7,328	37.8	27	0.4
人件費	3,098	16.0	△ 120	△ 3.7
扶助費	2,240	11.6	135	6.4
公債費	1,989	10.3	12	0.6
投資的経費	4,130	21.3	-	-
普通建設事業費	2,945	15.2	△ 336	△ 10.2
うち補助	1,921	9.9	△ 318	△ 14.2
うち単独	980	5.1	△ 27	△ 2.7
その他の経費	7,923	40.9	-	-
うち繰出金	2,072	10.7	-	-

③主要指標(平成23年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	-	% ( 13.14 )
連結実質赤字比率	-	% ( 18.14 )
実質公債費比率	11.5	% (25.0) [10.4]
将来負担比率	85.1	% (350.0) [63.6]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成22年度～平成24年度)	0.428	[0.693]
経常収支比率	84.0	% [88.0]
標準財政規模(平成24年度)	11,115	百万円 [14,930]
地方債現在高(A)	17,897	百万円 [22,514]
債務負担行為支出予定額(B)	1,120	百万円 [2,886]
積立金現在高(C)	6,364	百万円 [5,921]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	12,653	百万円 [19,479]

※1 ( )は早期健全化基準, [ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成23年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,419,690 ( 35.1 )	1,292,608 ( 35.3 )	91.0 [89.5]
市町村民税・法人 (構成比)	190,929 ( 4.7 )	185,160 ( 5.1 )	97.0 [97.8]
固定資産税 (構成比)	2,030,358 ( 50.1 )	1,821,773 ( 49.7 )	89.7 [89.4]
市町村税合計 (国保除く)	4,048,758	3,664,563	90.5 [90.5]

<公共施設整備状況>(平成23年度) ※のみ平成24年度

小学校 ※	14 校	プール	2 か所
中学校 ※	4 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※	5 園	老人福祉施設	18 か所
保育所	6 か所	病院・一般診療所	15 か所
図書館	1 か所	道路改良率	14.8 %
公営住宅	150 戸	道路舗装率	44.8 %
公民館等	17 か所	上水道等普及率	94.1 %
体育館	3 か所	汚水処理普及率	58.4 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
学校等建設	H25 ～	玉造地区統合小学校・北浦地区統合小学校	1,600
健康まちづくりマラソン大会	H25 ～	新たに健康づくりの契機とするべくマラソンをツールとした健康づくり	3
戸別浄化槽整備事業	H25 ～	霞ヶ浦の水質浄化を推進するため、対象エリアを市内全域に拡大させ、下水道・農集の空白地を補完する。	17
太陽光発電・蓄電システム設置事業	H25 ～	避難所になる麻生小、麻生東小、玉造小、玉造保健センター、麻生公民館、北浦公民館の6か所に設置する。	31
なめがたシティギャラリーでの職員研修事業	H25 ～	市特産品のPR活動等の現場実践活動研修等を取り入れた職員の一層の能力開発を図る。	9

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p>&lt;主要課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減災と再生エネルギー対策、少子化対策、6次産業の推進、健康づくりの推進、「なめがたブランド力」アップとPR、人材育成に力を入れていく。</li> </ul> <p>&lt;特色ある行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波大学と連携して、健康福祉医療のスマートシティまちづくり事業を実施する。</li> <li>・富士通研究所と連携して、ICT機器を活用した世代を超えて市民と地域がつながるシステムづくりを実施する。</li> <li>・筑波大学と連携し6次産業化推進と農業・食と健康の共同研究に取り組む。</li> <li>・「風土記1300年悠久の世界シンポジウム」を開催し、5風土記の地域間交流を行う。</li> <li>・はつらつ市民活動交流により、地域の課題と解決に向けた主体的な市民活動を支援する。</li> <li>・「なめりーミコット」によるなめがたブランドの形成と市のPR活動を行う。</li> <li>・なめがたシティギャラリー「とうきょうスカイツリー駅前事務所」で市の情報発信、PR活動・各種イベントを行う。</li> <li>・精義館ひと・まちづくり事業により、まちづくり人材育成と生涯学習の推進を図る。</li> </ul>
---